北大史学（北大史学会）第二五・二六号
就実女子大学史学論集　創刊号
精華町の寺社と美術（京都府精華町）
横浜市立大学論叢　第三七巻第二・三号
丹波国大山荘現況調査報告Ⅱ（西紀・丹南町教育委員会）
御影史学論集（御影史学研究会）第一一号
高円史学（高円史学会）第二号

編集後記

◇すっかり冬景色の準備を終えた大和路の民家の庭先や薮の中、葉のおちた柿の木のてっぺんあたり、色づきすぎたまっ赤な実がひとつ、ふたつ。今年も冬枯れの季節が、たしかにそして足早にやってきた。奥山に雪が降ると、小鳥たちは餌をもとめて村里におりてきます。その小鳥たちのために、飢えと寒さに耐えて生きぬいていく小鳥たちの糧として、あの赤い柿の実は残されているのだ、と聞きます。

◇奈良大学総合移転および社会学部増設の計画は順調に進行しており、奈良市山陵町の新校地における整地作業はすでに完了いたしました。この十二月二十日には、学舎建設の起工式が行なわれ、昭和六十二年の暮れにはほぼ完工する予定とのことです。来年度は大学移転に向けて、あらゆる年間行事予定が大きく変更されることは、必至の情勢です。史学会のスケジュールも、ずいぶん繰りあげて消化していかなければならないと思います。会員の皆様方への御協力をお願い申しあげるとともに、委員一同も気持ちを引きしめていかなければならないと覚悟しております。

◇第四号をお届けいたします。「論考」は日本近現代史の明石先生と、東洋近代史の菅野先生にお願いして、近現代史特集のようになりましたが、藤枝先生の「談話記録」も収載させていただくことができましたので、とりわけ特集の感が強まるとともに、充実したものになりました。守山先生の「史料紹介」は第三号の続きですが、今号で完結しました。今後ともなお一層会誌の充実に努めてまいりたいと思います。（鎌田）

奈良史学　第四号
一九八六年十二月発行
発行者　奈良大学史学会
会長　堀内一徳
奈良市宝来町一二三〇
奈良大学文学部内
電話（〇七四二）四四―一二五一（代）
振替　大阪九―三一五九四九番
印刷所　（有）藝林美術出版社

奈良大学史学会会則

第一条（名称）　本会は、奈良大学史学会と称する。

第二条（目的）　本会は、歴史学の研究・教育の発展を図ることを目的とする。

第三条（事業）　本会は、前条の目的を達成するため、つぎの事業を行なう。

㈠　機関誌『奈良史学』の刊行

㈡　研究会および講演会の開催

㈢　その他本会の目的を達成するために必要な諸事業

第四条（事務局）　本会の事務局は、奈良大学文学部史学科研究室におく。

第五条（会員）　本会の会員は、奈良大学文学部史学科教員・学生、および入会希望者をもって構成する。

第六条（会費）　本会の会員は、下記の会費を納入する。

会費の変更は、総会において決定する。

教員会員　年額　二、〇〇〇円

学生会員　年額　一、〇〇〇円

その他　年額　一、〇〇〇円

第七条（役員）　本会に下記の役員をおく。

会　長　一　名

副会長　一　名

監　事　二　名

委　員　若干名

第八条（役員の選出）　会長は、奈良大学文学部史学科主任教授がこれにあたる。

その他の役員は会長が委嘱する。

第九条（役員の職務）　会長は、本会を代表し会務を総括する。

副会長は、会長を輔佐し、会長事故あるときはこれに代る。

監事は、会計監査を担当する。

委員は、運営・会計・庶務などの会務を分担する。

第一〇条（役員の任期）　役員の任期は、一年とする。但し重任を妨げない。

第一一条（総会）　総会は、年一回開催し、会務報告を行なう。

第一二条（経費）　本会の経費は、会費・補助金およびその他の収入をもってこれにあてる。

第一三条（会計年度）　本会の会計年度は、毎年四月一日から始まり翌年三月三十一日までとする。

第一四条（会則変更）　本会の会則の変更は、総会の議決による。

附記　この会則は昭和五十八年四月一日から施行する。

NARA JOURNAL OF HISTORY

NARA SHIGAKU

No. 4 1986

CONTENTS

Articles

Premises of the Ishii-Lansing Agreement ....Iwao AKASHI (1)

A Study on the Abrogation of the Sino-Japanese Military Conventions ....Tadashi SUGANO (23)

Introduction and Translation

Memoirs of Abbot Guibert of Nogent, ed. by J. F. Benton: Commune Movement in Medieval City Laon. II. ....Norio MORIYAMA (38)

Interview

Memories of the Research Institute for the Studies of Northwestern China (西北研究所) ....Dr. Akira FUJIEDA (56)

Department's News

Edited and Published

by

THE NARA DAIGAKU SHIGAKUKAI

(The Historical Society of Nara University)

office : 1230 Hōrai, Nara, Japan